

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総画合計	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード	061647
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ	102
	関連個別計画					
担当部局		農林水産部				
施策の内容(番号)		148		～	150	

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価	今後の方向性	担当課
		選択区分	選択区分	
148	漁業者や水産業に携わる人々が連携し、イベント等を通じて市内産水産物の消費拡大をPRすることにより、市民の魚食に対する関心を高め、水産業の所得向上をめざせる環境整備に取り組みます。	A	①	水産振興室
149	防波堤整備など漁港施設の機能強化を図るとともに、既存漁港施設の長寿命化対策を推進します。	-	-	水産振興室
150	漁業経営体の体制強化や担い手不足を補うため漁協の合併促進を図ります。	A	①	水産振興室

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	D	E	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興	管理コード 061647148
		施策	47	水産業の振興	本冊ページ 102
	関連個別計画				
担当部局		農林水産部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		148	漁業者や水産業に携わる人々が連携し、イベント等を通じて市内産水産物の消費拡大をPRすることにより、市民の魚食に対する関心を高め、水産業の所得向上をめざせる環境整備に取り組みます。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
148-1	白塚おさかなまつり事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する補助	効	白塚おさかなまつり実行委員会が、補助金を活用しおさかなまつりを開催する	◆ 来客者数1,000人	◎	海産物及び農産物の販売やイベント等を催して地産地消及び魚食の普及が図られて来客者数3,200人という盛況で地域の水産業の活性化に成果があった。今後も引き続き、事業を継続していく。
	誰		市内外の人々	◇ 来客者数	◎		
	水産振興室		何	おさかなまつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋がられる	312 (千円)	現状維持	
148-2	津まつり出展事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担	効	津市農林水産物利用促進協議会が、負担金を活用し津まつりに伴いあおさりのみそ汁等を出展する	◆ 来客者数300人	◎	用意していた、農林水産物のPR用の配布等も全て配布し300人以上がブースを訪れ盛況であった。今後も引き続き、事業を継続していく。
	誰		市内外の人々	◇ 来客者数	◎		
	水産振興室		何	津まつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋がられる	0 (千円)	現状維持	
148-3	津市農林水産まつり事業	水産物の消費拡大、地産地消を推進し、水産業の活性化と振興を図るため実施されるイベントに対する出展負担	効	津市農林水産物利用促進協議会が、負担金を活用し津市農林水産まつりに伴いあおさりのみそ汁等を出展する	◆ 来客者数4,000人	◎	香良洲産のあおさりのを用いた味噌汁の振舞いを行い4,000人の来客者があり水産物のPRに寄与した。今後も引き続き、事業を継続していく。
	誰		市内外の人々	◇ 来客者数	◎		
	水産振興室		何	津市農林水産まつりを通じて地域活性化や水産物の振興等に繋がられる	160 (千円)	現状維持	
148-4	種苗放流等支援事業	水産資源の保護増殖を図るため、種苗放流等に対する支援	効	漁業組合等が、補助金等を活用しハマグリ等の稚貝を放流する	◆ 放流量2t	◎	稚貝を放流することにより、ハマグリの水揚げ高も好調に推移しており、計画どおり2tの放流を実施し、水揚げ量も33tと、事業の効果が現れてきている。今後も引き続き、事業を継続していく。
	誰		水産業者	◇ 水揚げ量	○		
	水産振興室		何	種苗等の放流を通じて水産資源の増大や保護増殖に繋がられる	5,050 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和6年度分)

148-5			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
148-6			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
148-7			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		
148-8			効	◆		
			誰	◇		
			何	(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	E	E	D	B	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり			
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興		管理コード	061647149
		施策	47	水産業の振興		本冊ページ	102
		関連個別計画					
担当部局		農林水産部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		149	防波堤整備など漁港施設の機能強化を図るとともに、既存漁港施設の長寿命化対策を推進します。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◇ 事業評価の主な視点		
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
149-1			効		◆		香良洲漁港海岸保全施設長寿命化計画に基づく海岸保全施設整備工事等は令和2年度に完了した。	
			誰		◇			
			何		(千円)			
149-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
149-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
149-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

施策の内容評価シート(令和6年度分)

149-5	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
149-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
149-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
149-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	—
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	—
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	-	-	-	-			
今後の方向性	①	①	①	-	-	-	-			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり			
		基本政策	16	食の安定と暮らしを支える農林水産業の振興		管理コード	061647150
		施策	47	水産業の振興		本冊ページ	102
	関連個別計画						
担当部局		農林水産部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		150	漁業経営体の体制強化や担い手不足を補うため漁協の合併促進を図ります。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の 振り返りとこれから (実施評価、事業評価、 今後の方向性を選んだ理由)	
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆	当初の事業実施計画		実施評価
			誰	誰のための事業か	◇	事業評価の主な視点		事業評価
			何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
150-1	漁業協同組合の体制強化事業	水産業の担い手確保対策等の事業	効	漁業協同組合の体制強化を推進する	◆	漁業担い手対策協議会等への参加	◎	漁業担い手対策協議会に参加し、漁協の担い手に、各種支援事業の周知を図ることにより、当該事業を活用した労働環境の改善に繋げて行けることができた。
	誰		漁業関係者	◇	本市に係わる2漁協の体制強化に向けて、漁業担い手対策協議会等への参加	◎		
担当課	水産振興室	何	安定した漁業活動に繋がる	0 (千円)	現状維持			
150-2			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
150-3			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			
150-4			効		◆			
			誰		◇			
			何		(千円)			

施策の内容評価シート(令和6年度分)

150-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
150-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
150-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
150-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	C	C	C	B	E	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

